

活動ノート



3月25日(日)

カブトムシの森作業(除伐、ヤード整備)

10:00~15:00

◆参加者: 静間、川内、迫(盛)、迫(一)、菊池(潤)(一)(泰)、羽迫、鎌田(隆)(麗)、榊、大田原、川上、松雪、河原R、<午後のみ>富永、小川R 計17名



◆内容: これまでの大型除伐は殆どがタブノキ、ユズリハ、ヤブツバキ、ホオノキ、ヤマモモといったものですが、今回は堅いアラカシが登場しました。

今日の作業地はカブトムシの森の中央部分にあたるB地区。ここで川沿いにあるアラカシの大木、遊歩道西側斜面のユズリハの中木の伐採を中心に除伐作業をしました。併せて伐倒木の枝葉を堆肥化するためのヤードの整備も行うので、4班に分かれての作業となりました。アラカシ班は木の直径が35cmと大物だった上、伐倒方向にヤブツバキの中木が多くあったのでかなりの難作業となり、後処理も含めて一日仕事でした。最後は材を利用して一本橋が出来上がり、皆で渡り初めをしました。この一本でもB地区下部が随分明るくなりましたが、今後もう一本のアラカシと



ヤブツバキ群を伐採することで大幅な環境改善になる筈です。ユズリハ班は遊歩道を暗くしていたユズリハ、ヤブツバキなど6本ほどを除伐、こちらもあと一回ほどの作業が必要です。斜面の作業では初心者のために比較的低い照葉樹の伐採を担当する班を作って、同じくユズリハ、ヤブツバキなどを伐ってもらいました。この作業の結果、低木のハナイカダが目立つようになってきました。ヤード班は林内の見通しを良くするために、ヤードの枠を低くする作業を、子供たちを交えて行いました。午後は材処理が中心で、先月の降雪での落枝なども含めてかなりの量だったにもかかわらず、ほぼ時間内で作業は完了しました。今日の作業では若い会員がノコギリで大活躍、大分腕を上げたようでした。今後も頑張ってください!

【ふりかえりより】

- ・久しぶりの森会ですが後片付けだけでも気持ち良かった。(川内)
- ・木を伐ったらすっきりしました。野外作業は最高の薬だと実感しました。(松雪)
- ・子供2人が楽しそうにやっていたので永く続けていきたいと思えます。(菊池)

4月8日(日)

カブトムシの森作業(除伐)

10:00~15:30

◆参加者: 榊、川上、川内、菊池(潤)(一)(泰)、篠原、羽迫、大田原、吉田、静間、柴戸(午前のみ)、富永(午後のみ) 計13名



◆内容: 絶好の作業日和となったのですが、伐採請負人の面々が来られなかったため、中小木を伐ることになりました。伐る気満々の子供たちにも頑張ってもらうため、3グループに分かれて作業して貰いました。それぞれの分担は①湿地のツバキ類と萌芽枝・幼木の伐採、②橋東詰め北側緩斜面の小木と萌芽枝の伐採、③西側石垣前のユズリハの伐採です。

昼になるとかなり暖かくなったこともあって、疲れがでてきた方がかなりおられました。怪我などの事故もなく安心しました。枝葉の多いツバキ、ユズリハが大半だったので、材処理に時間がか



かってしまい、30分ほど時間超過となってしまいました。午後の作業進捗の把握が甘かったと反省頻りです。

【ふりかえりより】

- 桜がとってもきれいでした。いい天気にも恵まれ、枝切りを致しました。(吉田)
- 湿地にあるヒゴツバキがなくなりスッキリしました。(富永)
- 久しぶりの油山の春を楽しみました。(柴戸)

4月21日(土)

カブトムシの森作業(除伐)

10:00~15:00

◆参加者:松雪、篠原、迫(盛)、岩尾、中嶋、羽迫、榊、柴戸、池田、百田(体験)、澤村(体験)、松井(体験) 計12名

◆内容:朝からどんよりとした曇り空でしたが、天気予報で日中は雨は降らないだろうとのことでしたので、思い切って作業を行うことにしました。天気の状態からして参加者は少ないのではと危惧していましたが、体験参加の方が3名も来ていただき、何とか作業体制を整えられる員数となりました。

まずは、レクチャールームで自己紹介や作業計画説明、安全確認等を行い、センター前で体操を行った後、今日の作業場であるカブトムシの森(B・C地区)へ向かいました。今日の作業の主な内容は、B地区のタブノキ及びアラカ



シ、C地区のスギ間伐でしたので、3~4名ずつの3班に別れて作業を始めました。

体験参加の方は、当カブトムシの森では珍しいスギの間伐をしてもらいました。対象となったのは、直径25~30cm、樹高15m前後のやや大きいスギでしたが、リーダーの的確な指導の下、受け口切り・追い口切りを基本通りに行い、立派なツルを残して計画通りの伐倒が出来ました。

また、B地区のタブノキは、枝の張った直径30cm前後と大きな木で、さらには足場の悪い急斜面上での作業となりましたが、無事に計画通りの伐倒を行うことができました。また、その後の材処理も予定時間内にすべてを完了することができました。なお、足場の悪いところでの作業は危険が伴うので、今後はしっかりした足場を作ってから作業にとりかかることが重要だと実感しました。

その他、B地区ではアラカシの間伐を行う予定でしたが、対象木の近くに前回除伐作業時の残材があったので、この処理作業と、周辺の掛かり木になりそうなヤブツバキの除伐だけに作業はとどめ、アラカシの伐倒は行いませんでした。

今回の間伐で、B地区は見違えるほど明るい森となり、C地区においても東屋から徐々に沢が見えるような形になりつつありま

す。今後もB地区で残っているタブノキやユズリハの間伐、またC地区のスギやヤブ状になっている箇所の除間伐を進めて行けば、5カ年計画で目指している森に徐々に近付けて行けるのではないかと考えています。

【ふりかえりより】

- 久々の作業で本当に楽しかったです。伐倒後の材処理を安全に行うポイントを学ぶことができて良かったです。(中嶋)
- 2回目の参加ですが、皆さんが一生懸命にされていて感心しました。ありがとうございました。(松井)

5月12日(土)

カブトムシの森作業(除伐)

10:00~15:00

◆参加者:榊、高木、川内、池田、菊池(潤)(泰)、羽迫、大田原、富永、迫(盛)、鎌田(隆)(麗)、松雪、林、澤村、静間、<午後のみ>柴戸、新牛込(寛)(清)、百田 計20名

◆内容:気温が涼しかったこともあって皆さんやる気満々でC地区に向かいました。ここで数名ずつの班に分かれて作業を始めました。斜面のかなり大きなユズリハ、東屋北側のスギなどを伐採する班、東屋とヤードの間にあった植栽木のカエデ、イヌエンジュ、その他東側の低木などを伐採する班、ヤード北側のヤブツバキ、アラカシ、ヤブニッケイなどの中





木を中心に伐採する班、斜面の草刈、萌芽枝の除去などを担当する班、ヤードの整備に加えて、新たなヤードも作る班です。子供たちのノコギリワークが随分しっかりしてきたのが印象的でした。

今回の作業で C 地区東の下を通る散策路や観察小屋が見通せるようになり、また C 地区のシンボリックなコナラの大木は全体がしっかり見ることが出来るようになりました。

休憩時にムシやらサワガニなどの観察ができ、若い世代を中心に盛り上がりました。作業中に女王蜂と思われるスズメバチが時々近づくことがありましたが、「じっとしていれば大丈夫」という注意を守って無事やり過ごしていました。正確な知識と適切な指導が効を奏したといったところででしょうか。

今年度はこれまでよりカブ森での除間伐活動が多く設定されていて、材処理に際してヤードの不足が心配となってきました。8月の活動日にみんなで考えたいと思います。

【ふりかえりより】

- 久しぶりに参加して楽しかったです。(高木)
- 久しぶりに木を伐り、C 地区も自身もスッキリしました。(林)
- 小さい子がいると楽しいです。(鎌田麗)

5月19日(土)

活動説明会(アカマツ林作業・調査)

10:00~15:00

◆参加者: 迫(盛)、榎、篠原、岩尾、富永、柴戸、小川R、井上R、<午前のみ>羽迫、澤村、百田、<午後のみ>本村 計 12 名



◆内容: ハルゼミの鳴く、初夏らしい陽気の一日でした。森を育てる会活動説明会でしたが、スタッフ打合せ開始時までには申込者すべてより、欠席のご連絡がありました。しかし、アカマツ林ではじめて活動される会員が 3 人おられることもあり、説明会の要素を残して運営することにして 10 時スタート。小川レンジャーが作成された、アカマツについての紙芝居「あるアカマツのはなし」を披露いただきました。アカマツ林が人の利用によって成立していること、利用されない事で常緑樹の林に移り変わる事等とてもわかりやすい内容で、拍手がわきました。

道具準備の後、炭焼き窯前で体操。アカマツ林の一番奥まで全員で歩きながら迫さんから、今まで



の作業の経緯などお話いただきました。午前は全員で調査。はじめてアカマツの芽生えを見る方もおられ楽しんでいただきました。区画 7 を残して調査完了。これは 6 月うん・えー会午後のアカマツ林作業時に実施させていただければと思います。井上レンジャーにもお茶の補給、調査用紙記入のご支援いただきました。

アカマツ林の中でまったり昼食後、午後は A 地区の堆肥ヤード下の斜面を草刈りしました。14 時 15 分に終了し、道具の手入れを行いました。

さて、振り返りの中では、活動説明会参加者 0 ということについて様々な角度から意見が出されました。おひらきは 16 時 20 分。長い一日、お疲れさまでした。

【ふりかえりより】

- 今日は赤松の調査や、紙しばいのおかげで、赤松の育ち方を知って良かったと思います。(澤村)
- 午後からの参加で〜す。ポチポチさせていただきました。新人さんに会えてうれしいです。(本村)
- 午前中のアカマツ調査で調査の重要さを感じました。(岩尾)
- ピンチをチャンスに(柴戸)

